

Nivolumab + SOX 療法(胃がん)

S-1 (エスワン) + L-OHP (オキサリプラチン) + Nivolumab (ニボルマブ)

【適応】

進行・再発胃がん

【投与スケジュール】

	Day1		Day15		Day21
S-1 80mg/m ² ※ 分 2					
L-OHP 130mg/m ² 2 時間かけて					
Nivolumab 360mg/body 30 分以上かけて					

S-1 は Day1 の夕から服用開始し、14 日間服用する (Day15 の朝まで)。1 週間休薬。

3 週を 1 コースとする。

※S-1 投与量

体表面積	投与量
1. 25 m ² 未満	40mg/回
1. 25 m ² 以上 1. 5 m ² 未満	50mg/回
1. 5 m ² 以上	60mg/回

【S-1 の減量の目安】

初回基準量	40mg/回	50mg/回	60mg/回
	休薬	40mg/回 →休薬	50mg/回 →40mg/回 →休薬

【腎障害時の投与量変更例】

◎S-1

Ccr (mL/min)	> 80	50～80	30～50	< 30
	減量なし	必要に応じて 1 段階減量投与量から開始	1 段階以上の減量投与量から開始	投与不可

- ニボルマブ投与時、インラインフィルター(0.2又は0.22 μ m)のある点滴ルートを用いて投与すること。
- 希釈する場合、1回240mg、360mg又は480mg投与時の総液量は体重30kg以上の患者には150mL以下、体重30kg未満の患者には100mL以下となるように調製すること。
- 本剤の作用機序に基づき、過度の免疫反応による副作用があらわれることがある。これらの副作用は、対応によっては重篤または死亡に至る可能性がある。観察を十分に行い、異常が認められた場合には、発現した事象に応じた専門医と連携して適切な鑑別診断を行い、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置を行うことが必要。